

ITEAC2023 JAPAN 内容 (案) (20230808)

*内容は今後、さらに修正される可能性があります

開催日 : 2023 年 9 月 19 日

会場 : 国立能楽堂 大講堂

第 1 部 公募プレゼンテーション

14:00-16:00. 10 分×12 組程度

舞台メーカーや劇場技術者、ホール関係者などに参加を呼びかけ、

有料で 10 分程度のプレゼンテーションをしていただく。

プレゼンテーションの様子は録画し、ITEAC のコンテンツとしてロンドンに送る。

第 2 部 ITEAC JAPAN 特別企画

16:15-16:55 「シアター・グリーン・ブック」について 大島広子氏 (舞台美術家)

イギリスの舞台業界の環境ガイドラインである「シアター・グリーン・ブック」について、紹介していただく。(

17:00-17:30 ロンドンの主会場でのキーノート (基調講演) を中継

17:45-18:30 伝統芸能の継続と発展と芸術活動を活用した社会的コミュニティ育成への視点

織田 紘二氏 日本の伝統芸能と国立劇場の取り組みについて

豊竹呂太夫氏 文楽における、社会貢献への視点

斎藤譲一氏 日本劇場技術者連盟の取り組み

モデレーター : 長谷川祥久氏

(全ての開催内容は、ITEAC2023 London に同時、または録画にて話題提供される予定)

18:45-20:30. 懇親会+ポスター展示

(メーカーの宣伝や研究紹介等を懇親会会場にて有料で展示)

ITEAC2023JAPAN に参加、協賛、話題提供申し込みをいただいた方は、ロンドンにて開催の ITEAC2023 への WEB 参加が許可されます。

概要説明 (案)

ITEAC とは

劇場技術・建築国際会議 (The International Theatre Engineering & Architecture Conference) が、より大きくなり、日本会場の開催が決定！

ITEAC は、舞台芸術を作り、体験する場所について劇場に関わる全ての技術・建築を考える世界的なフォーラムです。 ロンドンを拠点に、東京からボゴタまで様々な会場で開催される ITEAC は、世界中からオンライン・アクセスが可能で、世界各地で開催される対面式の会合に参加する機会も用意されます。

ロンドン、ブリスベン、サンパウロ、香港、東京、そしてその他の都市からの参加により、ITEAC は真にワールドワイドな対話を実現します。 世界中の劇場関係者が、このイベントの3つのテーマに関する話題提供に取り組んでいます。

環境の持続可能性

デジタル革命

地域社会への貢献

東京以外に、パリからボゴタまでの国際的な参加者を得て、世界的な経験と幅広く多様な視点から討論が行われます。

日本会場では、日本劇場技術者連盟を受け皿として ITEAC2023JAPAN 実行委員会が主催者となり、以下のテーマについて、事前に用意された映像や情報、多様なゲストを招いて劇場と本年度の3つのテーマについて、多様な報告と議論を展開し、同時に、ロンドンに集められた世界中のコンテンツに関しても、いくつかを紹介し、ゲストスピーカーと参加者によるトークセッションを開催する予定です。

そこで、3つのテーマに関わる内容に取り組んでいる様々な話題を募集し、5分〜7分程度の公開プレゼンテーションしていただく機会を用意します。個人、団体、公共、私的活動を問わず、3つのテーマに関わる日本から世界に発信すべき内容であればその立場は問いません。ふるってご応募をお願いいたします。(原則として先着順・有料)

参加協力予定：日本芸術文化振興会 (国立劇場・国立能楽堂) / 文楽協会 / 東京都歴史文化財団 (東京芸術劇場) / 埼玉県芸術文化振興財団 (彩の国さいたま芸術劇場) / 神奈川芸術文化財団 (神奈川芸術劇場) / せたがや文化財団 (世田ヶ谷パブリックシアター) / 京都市音楽芸術文化振興財団 (ロームシアター京都) / 新潟県五泉市 (ラポルテ五泉) / 香川県丸亀市 (丸亀市みんなの劇場 (仮称)) / 沖縄県那覇市 (那覇文化芸術劇場なは一と) / 福井県池田町 (池田町図書館新庁舎多目的複合施設) / 大分県竹田市 (グランツ竹田) / 群馬県上三原田村 (上三原田歌舞伎舞台) / 徳島県鳴門市 (鳴門市文化会館) / 全国公立文化施設協会 / 公共劇場舞台技術者連絡会 / 木造劇場研究会 / 劇場演出空間技術協会 / 日本劇場技術者連盟 (敬称・財団略)

この、日本会場でのリアルタイムイベントとは別に、ITEAC ロンドンには、以下の映像コンテンツが ITEAC のエディターである香山建築研究所代表の長谷川祥久より、日本からロンドンへの話題提供に協力しています。

この映像も、同時に紹介する可能性があります。

1、地域社会に劇場はなにができるか。

- ・ 地域社会産業とのかかわりから劇場施設を計画し運営する。(五泉市)
- ・ 社会包摂的視点で劇場を全ての市民のために活用する(丸亀市)
- ・ 最小限コミュニティの地域住民の日常の拠点として、劇場、図書館、庁舎を一体で計画する(池田町)
- ・ 伝統芸能の継続と発展と芸術活動を活用した社会的コミュニティ育成への視点(国立劇場)
(文楽における、社会貢献への視点として、「文楽とは(日本語版・英語版・フランス語版)」、「Gospel in BUNRAKU」,「文楽 x 漫画スーパーラボ」)

2、劇場のサステナビリティへの今後の視点

- ・ シアターグリーンブック(Paddy Dillon)の紹介と、サステナビリティに関してその日本での活用に関して(大島氏)

3、デジタル技術に関する、日本での取り組み

- ・ JATET からのデジタル技術の報告(映像部会より「デジタル技術の遅延回避に関して」、機構部会より「バーチャル劇場体験に関するシアターコンシェルジュシステムの取組(世田谷パブリックシアター)」、「劇場技術研修制度の取組(世田谷パブリックシアター)」)